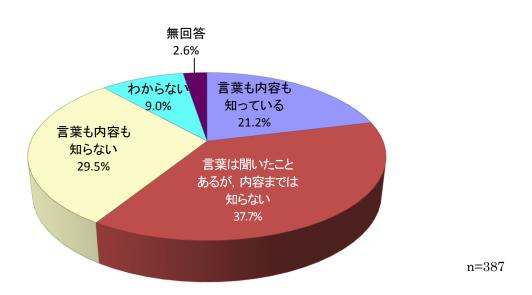
# 3. 男女共同参画について

- (1) 「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」の認知度
  - ◇ 「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が4割弱

問7	あなたは,「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」という言葉について,	どの程度知っ
	ていますか。	(0は1つ)
		n = 387
1	言葉も内容も知っている	21.2%
2	言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない	37.7%
3	言葉も内容も知らない	29.5%
4	わからない	9.0%
	(無回答)	2.6%

#### <図IV - 3 - 1 >全体

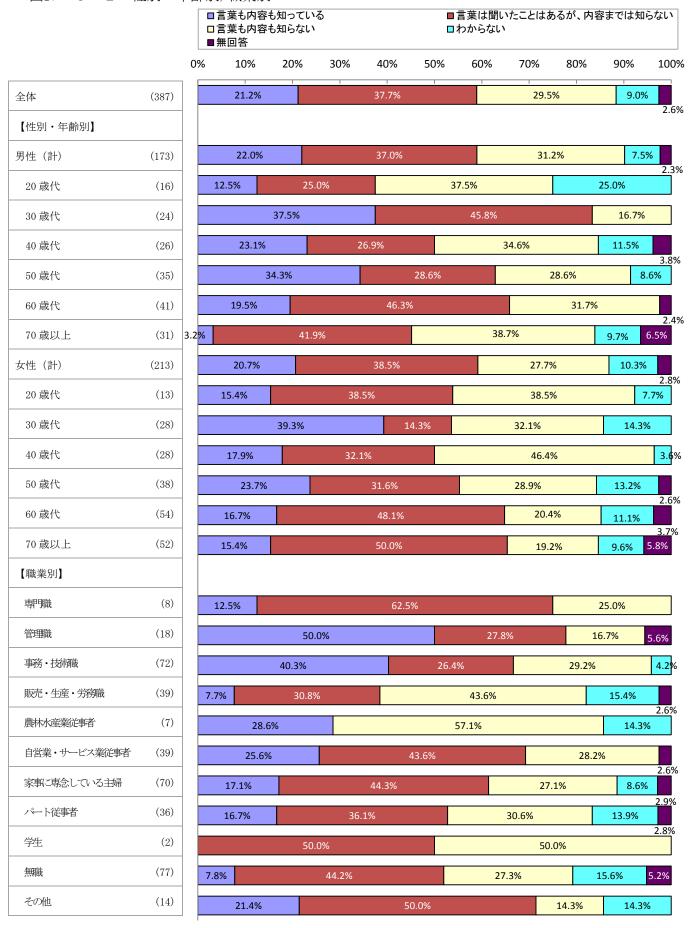


「ワーク・ライフ・バランス」の認知度については、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 37.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知らない」が 29.5%、「言葉も内容も知っている」が 21.2%と 続いている。(図 $\mathbb{N}-3-1$ )

性別・年齢別でみると、「言葉も内容も知っている」は<女性/30歳代>の39.3%が最も高く、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は<女性/70歳以上>の50.0%、「言葉も内容も知らない」は<女性/40歳代>の46.4%が最も高かった。(図 $\mathbb{N}$ -3-2)

職業別でみると、「言葉も内容も知っている」は管理職の 50.0%が最も高く、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は専門職の 62.5%が最も高かった。(図IV-3-2)

#### <図IV-3-2>性別·年齢別/職業別



#### (2) 生活の中で何を優先するか

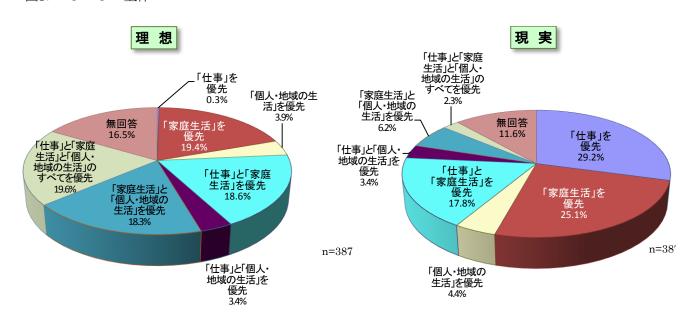
◇ 【理想】では「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」と「『家庭生活』 を優先」が約2割, 【現実】では「『仕事』を優先」が約3割

問8 生活の中での、仕事、家庭生活(家族と過ごすこと、家事、育児など)、個人・地域の生活(趣味、娯楽、ボランティア活動、自治会活動など)のうち、何を優先しますか。

【理想】と【現実】について、それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

		n=387	n=387
		【理想】	【現実】
1	「仕事」を優先	0.3%	29. 2%
2	「家庭生活」を優先	19. 4%	25. 1%
3	「個人・地域の生活」を優先	3.9%	4.4%
4	「仕事」と「家庭生活」を優先	18.6%	17.8%
5	「仕事」と「個人・地域の生活」を優先	3.4%	3.4%
6	「家庭生活」と「個人・地域の生活」を優先	18.3%	6. 2%
7	「仕事」と「家庭生活」と「個人・地域の生活」のすべてを優先	19.6%	2.3%
	(無回答)	16. 5%	11.6%

<図IV - 3 - 3 >全体



生活の中で何を優先するかの【理想】では、「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」が19.6%と最も高く、次いで「『家庭生活』を優先」が19.4%、「『仕事』と『家庭生活』を優先」が18.6%と続いている。

生活の中で何を優先するかの【現実】では、「『仕事』を優先」が29.2%と最も高く、次いで「『家庭生活』を優先」が25.1%、「『仕事』と『家庭生活』を優先」が17.8%と続いている。(図IV-3-3)

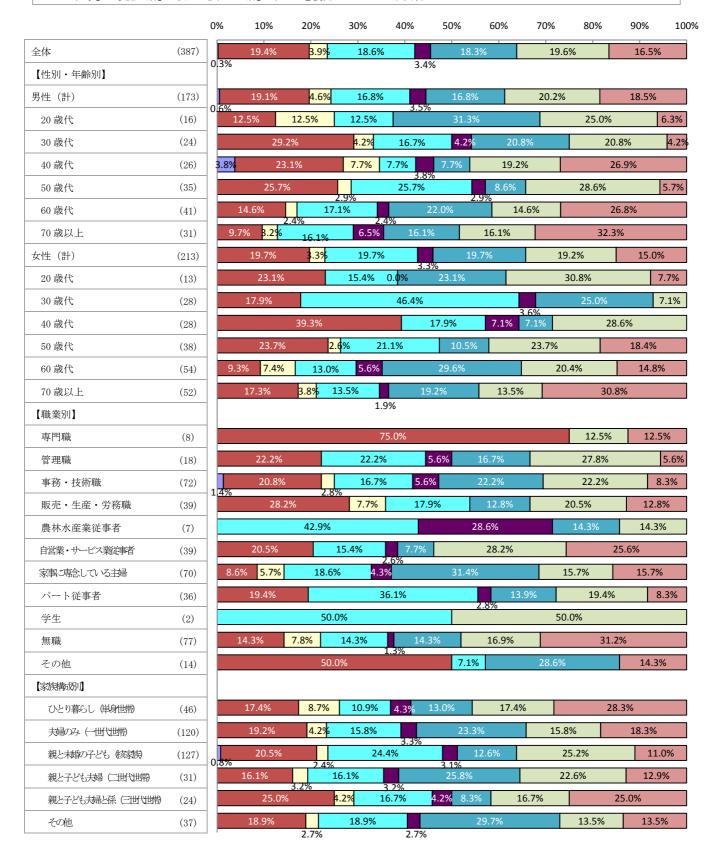
【理想】と【現実】を比較してみると,『仕事』を優先」(0.3%・29.2%)が 28.9 ポイントと最も差が出ている。次いで,「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」(19.6%・2.3%)が 17.3 ポイント,「『家庭生活』と『個人・地域の生活』を優先」(18.3%・6.2%)が 12.1 ポイントの差となっている。(図IV-3-3)

性別・年齢別,職業別,家族構成別ともに,「『仕事』を優先」のギャップが著しいのが見られた。(図W-3-4)(図W-3-5)

#### <図 $\mathbb{N}-3-4>$ 性別·年齢別/職業別/家族構成別(理想)

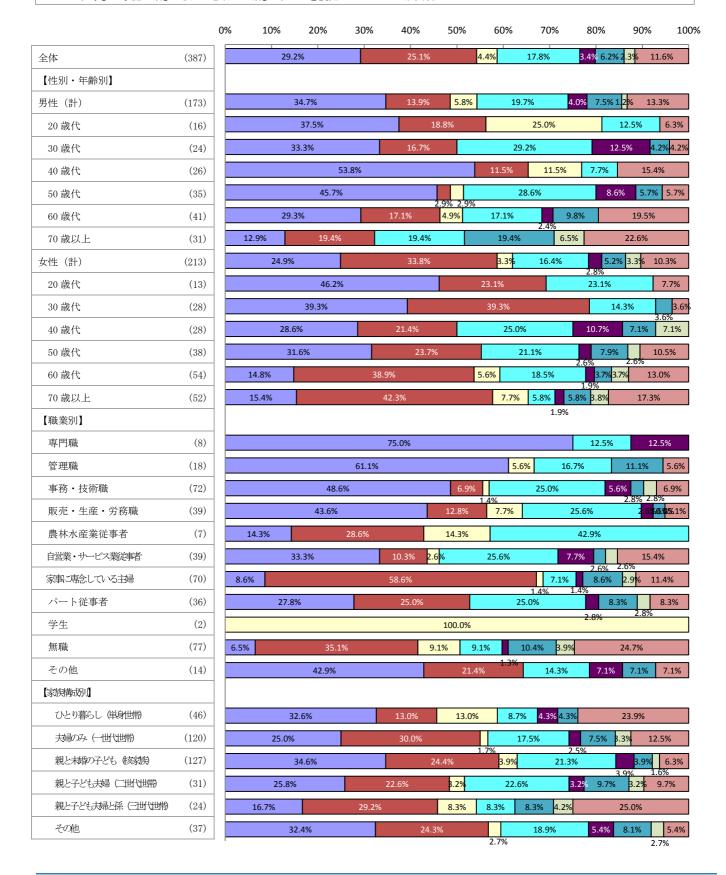
#### ■「仕事」を優先

- □「個人・地域の生活」を優先
- ■「仕事」と「個人・地域の生活」を優先
- □「仕事」と「家庭生活」と「個人・地域の生活」のすべてを優先
- ■「家庭生活」を優先
- □「仕事」と「家庭生活」を優先
- ■「家庭生活」と「個人・地域の生活」を優先
- ■無回答



#### <図N-3-5>性別・年齢別/職業別/家族構成別(現実)

- ■「仕事」を優先
- □「個人・地域の生活」を優先
- ■「仕事」と「個人・地域の生活」を優先
- □「仕事」と「家庭生活」と「個人・地域の生活」のすべてを優先
- ■「家庭生活」を優先
- □「仕事」と「家庭生活」を優先
- ■「家庭生活」と「個人・地域の生活」を優先
- ■無回答



#### (3) 配偶者等からの暴力を受けた経験

## ◇ 「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が1割弱

問 9	過去2年間に夫や妻,恋人から,次のような暴力を受けた て,あてはまる番号に○をつけてください。	たことがあ	りますか。	次の各項	目につい
					n = 387
		何度も あった	1,2度 あった	まったく ない	無回答
1	身体に対する暴力を受けた(殴る、蹴るなど)	0.8%	1.6%	93.0%	4.7%
2	精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた (大声で怒鳴る,待ち伏せをするなど)	2.6%	4.9%	87.1%	5.4%
3	経済的な暴力を受けた (生活費を渡さない,支出を細かく監視するなど)	1.3%	1.8%	89.4%	7.5%
4	社会的な暴力を受けた (携帯電話を壊す,親族や友人との付き合いを制限するなど)	0.5%	2.1%	90.4%	7.0%
5	性的な暴力を受けた (性行為を強要する,避妊に協力しないなど)	0.5%	1.0%	91.2%	7. 2%

<u> </u>	何度もあった	■1,2度あった	□まったくない	□無回答	
0%	20%	40%	60%	80%	100%
0.8%	-	93.0%		1	4.7%
2.6% 4.9%		87.1	%		5.4%
1.3%		89.4%		7	7.5%
2.1%		90.4%		7	7.0%
0.5%		91.2%		7	7.2%
	0.8 1.6% 2.6% 4.99 1.3% 1.8% 2.1% 0.5%	1.3% 1.8% 2.1% 0.5%	0% 20% 40%  0.8% 93.0%  1.6%  2.6% 4.9% 87.1  1.3% 89.4%  2.1% 90.4%	0% 20% 40% 60%  0.8 93.0%  1.6%  2.6% 4.99 87.1%  1.3% 89.4%  2.1% 90.4%  0.5%	0% 20% 40% 60% 80%  0.8% 93.0%  1.6%  2.6% 4.9% 87.1%  1.3% 89.4%  2.1% 90.4%

過去2年間に、夫や妻、恋人から暴力を受けたことがあるかについて、「何度もあった」と「1,2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が7.5%で最も高く、次いで、「経済的な暴力を受けた」が3.1%、「社会的な暴力を受けた」が2.6%、「身体に対する暴力を受けた」が2.4%であった。(図 $\mathbb{N}-3-6$ )

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別において、【経験あり(計)】が最も多いものは、「身体に対する暴力を受けた」は〈女性/50 歳代〉が 7.9%、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」は〈男性/20 歳代〉が 18.8%、「経済的な暴力を受けた」は〈男性/40 歳代〉が 7.7%、「社会的な暴力を受けた」は〈女性/50 歳代〉が 7.9%、「性的な暴力を受けた」は〈女性/50 歳代〉が 5.2%であった。

 $(\boxtimes \mathbb{N} - 3 - 7 \sim \boxtimes \mathbb{N} - 3 - 1 \ 1)$ 

暴力を受けたことがある(総合)について、性別・年齢別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<女性/50歳代>6.8%が最も高かった。(図 $\mathbb{N}-3-12$  総合)

職業別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<家事に専念している主婦>の 4.9%が最も高かった。(図 N-3-12 総合)

家族構成別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<親と子ども夫婦と孫三世代世帯)>が 5.0%で最も高かった。(図IV-3-12 総合)

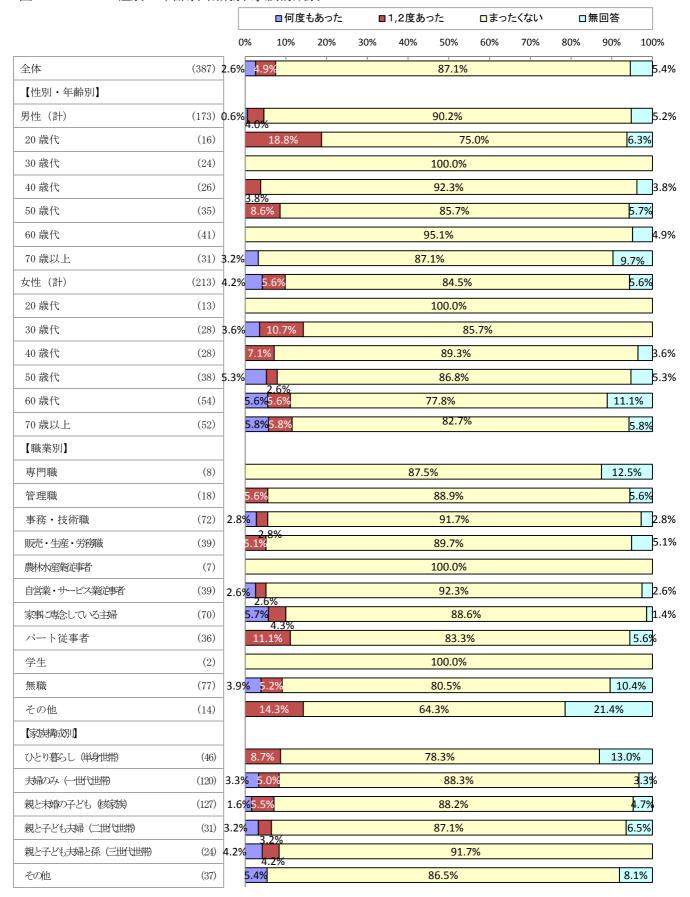
## ①身体に対する暴力を受けた

#### <図IV-3-7>性別・年齢別/職業別/家族構成別



## ②精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた

#### <図IV-3-8>性別・年齢別/職業別/家族構成別



## ③経済的な暴力を受けた

#### <図IV-3-9>性別・年齢別/職業別/家族構成別



# ④社会的な暴力を受けた

# <図 $\mathbb{N}-3-10>$ 性別・年齢別/職業別/家族構成別

			■何度もあった	■1,2度あった	□まったくない	□無回答
		0%	20%	40%	60%	80% 10
全体	(387)	0.5	I	90.4%	I	7.0%
【性別・年齢別】		2.1	.%			
男性(計)	(173)	1.7%	92.5%			5.89
20 歳代	(16)			93.8%		6.3%
30 歳代	(24)			100.0%		
40 歳代	(26)	7.7	7%	88.59	%	
50 歳代	(35)	2.9%		91.4%		5.79
60 歳代	(41)			95.1%		4.9
70 歳以上	(31)			87.1%		12.9%
女性(計)	(213)	0.9	2/	88.7%		8.0%
20 歳代	(13)	2.39	<b>%</b>	100.0%		
30 歳代	(28)			100.0%	1	
40 歳代	(28)			96.4%		
50 歳代	(38)	5.3%		84.2%		7.9%
60 歳代	(54)	3.7%	2.6%	81.5%		14.8%
70 歳以上	(52)	3.8%		86.5%		9.6%
【職業別】						
専門職	(8)			87.5%		12.5%
管理職	(18)			94.4%		5.69
事務・技術職	(72)	1.4%		95.8%		
販売・生産・労務職	(39)	5.1%	<b>%</b>	89.7%		5.1
農林水産業従事者	(7)			100.0%		
自営業・サービス業従事者	(39)	5.1%	<b>%</b>	89.7%		5.1
家事に専念している主婦	(70)	1.4%		92.9%		4.3
パート従事者	(36)	1.4	%	88.9%		11.1%
学生	(2)			100.0%		
無職	(77)	3.9%		84.4%		11.7%
その他	(14)	-		78.6%		21.4%
【家族構成別】		-				
ひとり暮らし(単身世帯)	(46)		<i>*</i>	84.8%		13.0%
夫婦のみ (一世代世帯)	(120)	0.8 <mark>%</mark>		91.7%		6.7%
親と栽婚の子ども、核家族		1.6%	% 	92.9%		5.59
親と子ども夫婦(二世代世帯)		3.2%		90.3%		6.5%
親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)	(24)	4.2%	<u> </u>	91.7%		4.2
その他	(37)	5.4%		86.5%		8.1%

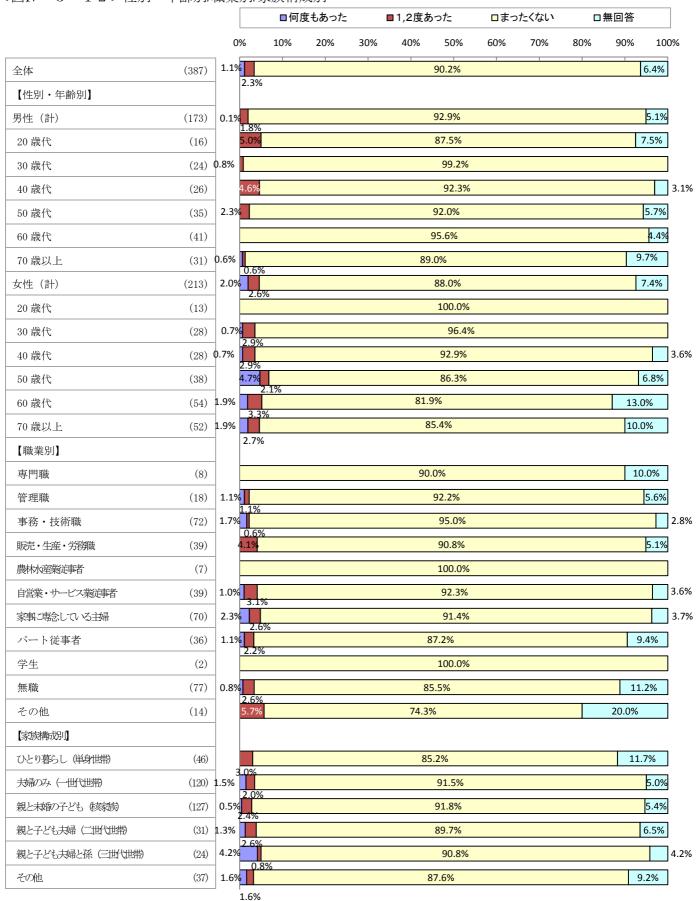
## ⑤性的な暴力を受けた

# <図IV-3-11>性別・年齢別/職業別/家族構成別



#### ●暴力を受けたことがある (総合)

<図IV - 3 - 1 2 >性別・年齢別/職業別/家族構成別

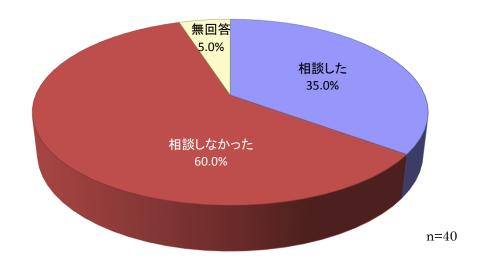


# (3-1) 暴力を受けたときに誰かに相談したか

# ◇ 「相談しなかった」が6割

問10	問9で、いずれかの暴力を受けたことが「何度もあった」「1、	2度あった」と回答した人にお
	聞きします。あなたは、夫や妻、恋人から暴力を受けたときに、	
		(()は1つ)
		n=40
1	相談した	35.0%
2	相談しなかった	60.0%
	(無回答)	5.0%

<図Ⅳ-3-13>全体



夫や妻, 恋人から暴力を受けたときに, 誰かに相談したかについて, 「相談しなかった」が 60.0%, 「相談した」が 35.0%だった。(図 $\mathbb{N}-3-1$ 3)

性別・年齢別でみると、「相談した」は<女性/50 歳代>が 60.0%で最も高かった。(図 $\mathbb{N}-3-14$ )

家族構成別でみると、<夫婦のみ(一世代世帯)>が28.6%で最も低かった。(図IV-3-14)

#### $< 図IV - 3 - 14 > 性別 \cdot 年齢別/職業別/家族構成別$



